

減水区間の植物確認状況

(1) 調査地点

調査は図 1 に示す 5 地点で行った。なお、調査地点 5 は取水口計画地の調査範囲（地点③）と重なっていたため、結果は取水口計画地の結果に含めている。

(2) 調査時期

調査可能地点の確認および撮影を 2016 年 7 月 22 日、現地調査を 8 月 31 日および 11 月 6 日に実施した。

(3) 調査結果

減水区間は溪谷状で、河床は大礫(2~20cm)、巨礫(20cm 以上)から構成され、調査地点 1、2、3 ではコンクリートブロックによる床固めが施されていた。これらの地点では流路は限定され、流れは速く、沈水植物は確認されなかった。調査地点 1、2 では河道内に植物はなく、護岸の隙間やのり枠にススキ、イタチハギ、エノコログサ、ノイバラ、ヨモギなどが確認された。

調査地点 4（横川合流点付近）では川幅が広く、流れは比較的緩やかであったが、河床は大礫を中心に構成され、砂や泥が堆積した場所は頻繁に出水にさらされるようで調査した時点では植物の発生はみられなかった。河川敷のやや高くなった部分にはエノコログサ、ヨモギ等の路傍雑草が確認できたが、河川に特有の植物（カワラハハコ等）は確認できなかった。谷壁の巨岩にはツメレンゲやキリンソウ等の岩上性の植物が多数見られる地点があった。



減水区間調査地点 1



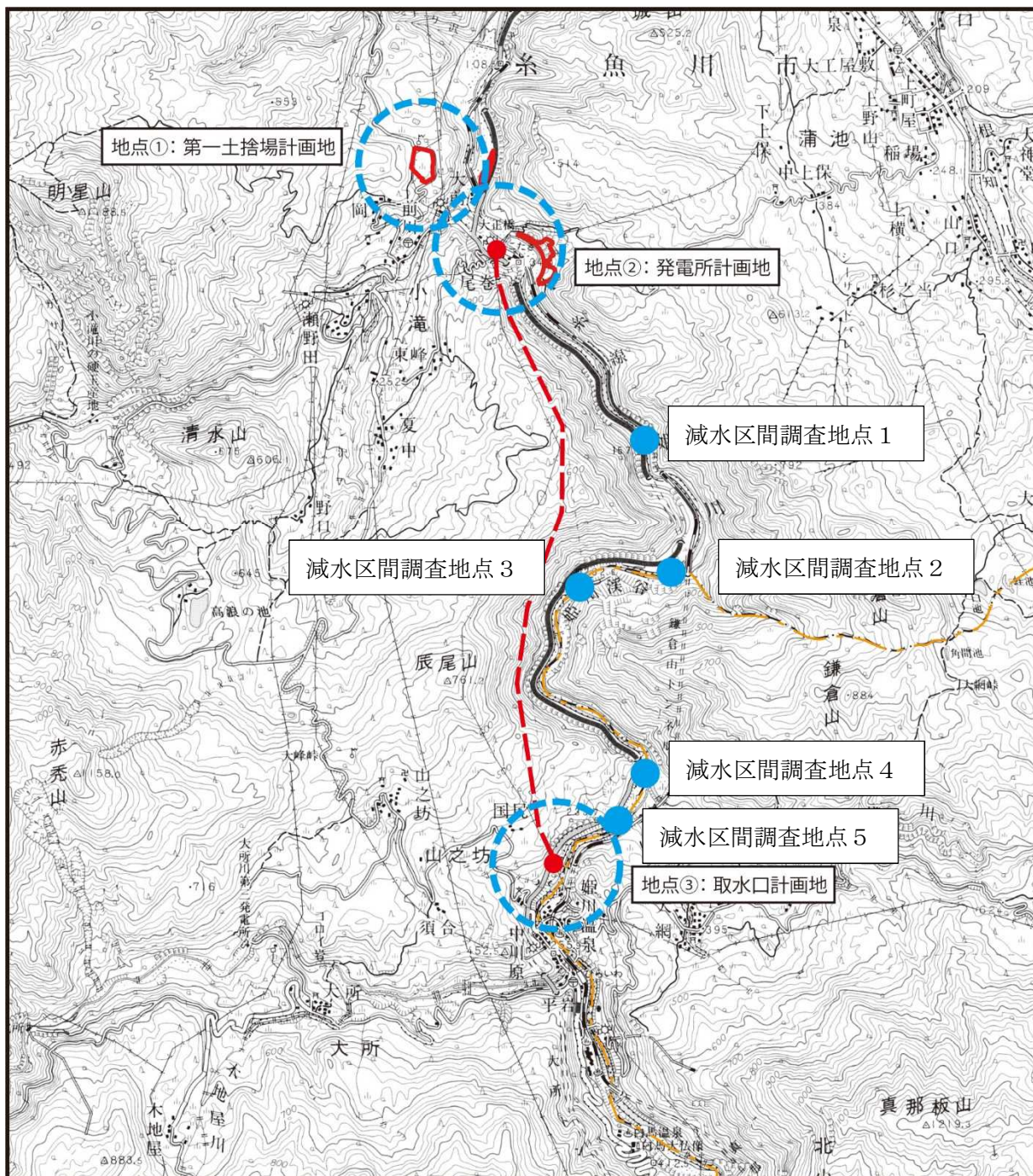
減水区間調査地点 2



減水区間調査地点 3
(スリットダム下流)



減水区間調査地点 4
(横川合流地点)



凡 例





-  : 陸生動物、植物調査範囲
(各変更区域を中心とする半径500mの範囲を基本とする。)
-  : 減水区間植物調査地点
-  : 県境
-  : 対象事業実施区域

図1 減水区間調査地点位置図

